



杉山たかのり

 ニュース

市議会内 日本共産党市会議員団控室 Tel.35-3368

自宅 西宮市津門仁辺町5-21 Tel・Fax35-1682

団ホームページ <http://nishinomiya.jcp-giin.net/>

ブログ・ツイッター [杉山たかのり](#) フェイスブック [杉山孝教](#) で検索を

9月1日から始まった9月議会。杉山たかのり議員は7日、一般質問を行いました。弾道ミサイルを想定した住民避難訓練、核兵器禁止条約の採択を受けての平和行政、国道43号線の横断歩道橋へのエレベーター設置の3つの質問概要を順次、紹介します。

西宮市議会9月定例会 杉山たかのりの一般質問 その1

米朝軍事的緊迫下での弾道ミサイル想定住民避難訓練 いまこそ対話で危機回避を



9月3日、北朝鮮は6回目となる核実験を強行し、北海道を越えて太平洋に落下させた8月29日の弾道ミサイル発射に続く暴挙といえます。国連安保理決議などへの違反であるとともに、7月の国連会議で核兵器禁止条約採択されるなど、国際社会が「核兵器のない世界」への新たな前進をめざしているも

とで、これに真っ向から挑戦する重大な行為であり、世界と北東アジアの平和と安定を脅かす、危険な軍事的挑発を繰り返すことを、北朝鮮はただちにやめるべきです。

特にこの間、米朝間での軍事的緊張がエスカレートしていく中で、いま最も危険なのは、当事者の思惑や意図にも反し、偶発的な事態などで武力衝突につながる現実的な可能性が生まれ、強まっていることです。思わぬ軍事的な衝突で深刻な被害を受けるのは、韓国と日本であり、このような事態は絶対に避けなければなりません。

日本共産党は、8月12日志位和夫委員長が「危機打開のため米朝は無条件で直接対話を」という声明を発表しています。これは、おびたしい犠牲をもたらす軍事衝突は絶対に回避しなければならない、そのために米朝に強く自制を求め、無条件で直接対話に踏み出す必要性を指摘したもので、アメリカ、北朝鮮をはじめ6カ国協議参加国、国連安全保障理事会の全理事国、グテレス国連事務総長に送付・伝達しています。

米朝の軍事的な衝突の危険の高まりを危惧し、世界各国から「制裁だけで解決できない」と対話を求める声が上がっています。8月29日の安保理議長声明は「対話を通じた平和的で包括的な解決」を加盟国に呼びかけています。アメリカも軍事的圧力を強めつ

つも、対話解決を探る動きも見られます。日本政府のみが「対話のための対話は意味がない」など、外交努力を否定する発言を繰り返していますが、軍事・経済の圧力一辺倒を強める姿勢を改め、米政府に対話の必要性を解くことに力を注ぐべきです。

このような、状況で、9月17日、近畿で初めて、弾道ミサイルを想定した住民避難訓練が、東鳴尾地区で行われます。主催は、内閣官房、消防庁、兵庫県、西宮市、協力団体として東鳴尾防災会となっています。訓練想定は、「X国から弾道ミサイルが発射され、我が国に飛来する可能性がある」と判明」というものです。

このような訓練も、現状から否定することはできないと認識しています。いったい、どのような訓練となるのか、確認しておきたいと思います。

- 1、このたびの住民避難訓練の実施経緯を説明してください。
- 2、この住民避難訓練は、西宮市国民保護計画ではどのような位置づけとなっているか。
- 3、今回の住民避難訓練について、訓練の内容を説明してください。
- 4、訓練想定がX国という名称を使っているが、北朝鮮を想定しているのか。通常災害等の避難訓練では被害想定を示すが、この住民避難訓練ではどうなっているのか。
- 5、「住民避難訓練」の実施状況をうかがいます。全国ではどうか。中核市ではどうか。

市当局の答弁

国民保護に係る訓練経験がなく、国からの情報の伝達方法や取るべき行動について、市民に正しく理解していただくために、訓練実施の必要があると考えていたところ、県から国、県、市合同での訓練実施の打診を受け、地域の協力を得て実施することとした。

訓練は、10時00分X国から弾道ミサイル発射想定で、03分「ミサイル発射情報と呼びかけ」04分「ただちに避難を呼びかけ」08分「ミサイル迎撃情報」の3回、防災スピーカーから国民保護サイレンを鳴らし緊急情報を放送する。屋外にいる場合「その場で腕や鞆を使って頭部を守る」または「頑丈な建物に避難する」、屋内にいる場合「できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動」などの避難行動をとる、というもの。X国は、北朝鮮を想定していない。被害想定はしてない。全国で14例目、中核市では初めて。

解説

実質4分間の避難訓練。杉山議員は再質問で、西宮市国民保護計画の中の「訓練にあたっての留意事項」で高齢者や障害のある人への配慮、第三者の参加による客観的な評価が示されているにもかかわらず、市は「今後検討する」と、不十分さも明らかになりました。

杉山議員は、すでに市民にも認知されている防災訓練などと比べて、「武力攻撃事態を想定した訓練」は訓練そのものも未確立で、市民にも認知されておらず、市民の中でも賛否があり、慎重な対応と検討が必要だと指摘しました。

最後に、北朝鮮問題では核兵器禁止条約にも米朝間の対話にも背を向ける安倍政権の異常さを厳しく批判し、政治の転換が必要だとのべました。